

# 「登録海上起重基幹技能者」講習 受講願書等の記入について

## 1. 申請書一(受講願書)

- (1)※整理番号、※受講番号の欄は、記入不要です。
- (2)受講希望地の欄は、本人が希望するいずれかの会場を記入して下さい。
- (3)専門船団の欄は、講習の手引き3ページの資格対象船団と構成に記載されている10船団の内から受講申請者が主に専門として乗船している作業船団名を記入して下さい。
- (4)建設業の種類欄は、10年以上の海上工事に従事した実務経験を有する土木工事又はしゅんせつ工事のうち、該当する工事業にレ印を記入して下さい。
- (5)連絡先の欄は、本人に確実に連絡がつく宛先に○印を付けて下さい。講習修了証の送り先になりますので、本人に確実に渡る宛先として下さい
- (6)受講区分の欄は、次の1)又は2)の該当する□にレ印を記入して下さい。
  - 1)新規に講習及び試験を受講する方は、新規受講の□の欄。
  - 2)講習を受けずに試験を受験される方は、再受験の□の欄。(試験不合格者で試験のみを希望する方が対象)

## 2. 申請書二(保有免許・資格、受講料払込金受領証(写))

- (1)受講申請者が取得済みの免許・資格について、免許番号等を記入して下さい。
- (2)海上起重作業管理技士又は建設マスター顕彰者の資格者証の写しを添付して下さい。
- (3)職長教育修了証又は職長・安全責任者教育修了証の写しを添付して下さい。
- (4)受講料払込金受領証(写)貼付の欄には、郵便局備付けの「払込取扱票」で受講料の払込みをしたうえで、「振替払込請求書兼受領証」の写しを貼付けて下さい。  
なお、「払込取扱票」の通信欄には、登録海上起重基幹技能者講習受講と記すとともに受講申請者氏名を、  
「振替払込請求書兼受領証」のご依頼人欄には、会社名と受講申請者氏名を記入(1人一枚)して下さい。

## 3. 申請書三(海上作業業務経歴書)

- ※ 受講資格の適否を審査する様式です。実務経験年数及び指揮・監督経験年数が不足の場合は受講できません。(海上起重作業管理技士受講時作成の経歴を踏まえ作成して下さい。)
- ※ 再受験者は、海上作業業務経歴書の提出は不要です。
- ※ 指揮・監督経験とは、船団長、船長、副船長、機関長、甲板長の経験です。
- ※ 実務経験年数は、作業船の乗組員として乗船し、海上工事に従事した期間の合計を指します。本年5月31日までを対象とします。
- ※ 作業船を用いた工事であれば、河川、湖沼、ダム等の淡水域での作業も対象とします。

- (1)作業期間:工事施設名毎に作業開始から作業終了までの期間を記入して下さい。なお、年度をまたぐ工事については、各年度に期間を振り分けて記入して下さい。
- (2)作業船団:作業時に乗船した専門船団名を記入して下さい。
- (3)作業場所:○○港、○○漁港等を記入して下さい。
- (4)工事施設名:水域施設(航路、泊地等)、外郭施設(防波堤、離岸堤等)、係留施設(岸壁、物揚場、棧橋等)等を記入して下さい。
- (5)作業内容:打込作業(鋼管杭、鋼矢板)、据付作業(ケーソン、消波ブロック、被覆ブロック、根固ブロック等)、地盤改良作業(深層混合処理、サンドコンパクション等)、浚渫作業(航路、泊地、床掘等)等の作業名と施工数量を記入して下さい。

例)打込作業:鋼管杭φ1,000mm×L40.0m、据付作業:ケーソン 1,500t、消波ブロック 40.0t、浚渫作業:航路-14.0m、土量 200.000 m<sup>3</sup>、地盤改良作業:深層混合処理(改良深度-30.0m)

- (6)作業上の立場:船団長、船長、副船長、機関長、甲板長、甲板員等乗船時の職名を記入して下さい。
- (7)発注者又は元請会社名:工事受注先の名称(元請の場合は発注者名、下請の場合は元請会社名)を記入して下さい。
- (8)所属会社名:受講申請者が作業時に所属していた会社名を記入して下さい。
- (9)建設工事の種類:各作業期間の作業内容について、該当する工事(土木工事業又はしゅんせつ工事業)に○印を付けて下さい。
- (10)経験年数:作業上の立場に船団長、船長、副船長、機関長、甲板長として指揮・監督した工事について、○印を記入してください。併せて、作業期間月数を(ヶ月)書きで記入して下さい。
- (11)実務経験年数:受講資格要件として、申請書-1で選択した建設業の種類(土木工事業又はしゅんせつ工事業)において、10年以上の海上工事の実務経験が必要です。作業船の乗組員として乗船してから、本年5月31日までの経歴を記入して下さい。この場合、年間(4月~3月)の作業期間が6ヶ月を超える場合は、その年度の実務経験を(1年)とカウントします。
- (12)指揮・監督経験年数:受講資格要件として、申請書-1で選択した建設業の種類(土木工事業又はしゅんせつ工事業)において、3年以上の職長(指揮・監督者)経験が必要です。(10)の実務経験年数のうち、経験年数欄○印の通算年数が3年以上であること。
- (13)海上作業業務経歴の証明:最終ページに受講申請者(自筆)、代表者の署名、押印をして下さい。

#### 4. 申請書-4(受講票)

- (1)受講希望地の欄は、本人が希望するのいずれかの会場を記入して下さい。
- (2)※受講番号の欄は、記入不要です。
- (3)写真貼付欄の写真は、たて 3.0cm×よこ 2.4cmのサイズ、正面・無帽・無背景で胸から上を6ヶ月以内に撮影したものとします。なお、不鮮明なスナップ写真、サングラスの着用等本人確認しにくいものは無効とします。写真の裏面に受講希望地、氏名を書いて、貼付欄に貼り付けて下さい。

#### 5. 申請書-5(修了証交付申請書)

- (1)※印欄(修了年月日、修了書番号、有効期限)は、記入不要です。
- (2)土木工事業で申請する者は、「実務経験を有する建設業の種類:土木工事業」の講習修了証に、しゅんせつ工事業で申請する者は、「実務経験を有する建設業の種類:しゅんせつ工事業」の講習修了証に、それぞれ写真を貼付けて下さい。
- (3)写真貼付欄の写真は、たて 3.0cm×よこ 2.4cmのサイズ、正面・無帽・無背景で胸から上を6ヶ月以内に撮影したものとします。なお、不鮮明なスナップ写真、サングラスの着用等本人確認しにくいものは無効とします。写真の裏面に受講希望地、氏名を書いて、選択した建設業の貼付欄に貼付けて下さい。また、交付する講習修了証用として写真1枚を使用しますので、クリップ等で申請書-5に留めて下さい。

#### 6. 申請書類送付及び受講票送付封筒

- (1)申請書類送付封筒(角形2号)の表面の端に「登録海上起重基幹技能者申請書在中」と明記して下さい。また、裏面には希望受講地を明記して下さい。
- (2)複数名の申請書類を送付する場合は、クリップ等で一人一葉の申請書類として下さい。
- (3)後日、同封された受講票送付封筒(長形3号)で、受講番号が記入された受講票を郵送しますので、84円切手を貼り、住所(会社又は自宅)、宛名(会社名、受講申請者名)を明記して下さい。なお、複数名の申請書類を送付された場合でも、一人一封として下さい。

申請書-1

記入例

令和3年度

※ 整理番号

※ 受講番号

## 「登録海上起重基幹技能者」講習 受講願書

私は、「登録海上起重基幹技能者」講習を受講したいので、関係書類を添えて申し込みます。

令和3年 6月12日

氏名(自筆) 海上 太郎 印

一般社団法人 日本海上起重技術協会会長 殿

受講希望地	専門船団
東京	起重機船団

建設業の種類 該当する工事業の どちらかに <input checked="" type="checkbox"/> 印	<input checked="" type="checkbox"/> 土木工事業 <input type="checkbox"/> しゅんせつ工事業
---	--

フリガナ	カイジョウ	タロウ
氏名	(氏) 海上	(名) 太郎

生年月日・年齢		
(西暦)1980年	5月	1日生
年齢		41歳
性別	○男・女	

本籍	神奈川県
現住所	〒100-0002 東京都大田区1-1-1 TEL 03-591-1111
所属会社名	(株)日本海上起重
会員区分	(○)会員・( )非会員      どちらかの( )内に○を付けて下さい
会社所在地	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8 ユースビル8F TEL 03-5640-2941
連絡先	( )住所宛・(○)会社宛      どちらかの( )内に○を付けて下さい

※「登録海上起重基幹技能者」講習受講区分(該当する項目にを入れて下さい)

新規受講・ 再受験

保有免許・資格

免許資格	免許番号	取得機関	取得年月日
1 海上起重作業管理技士	20000	(一社)日本海上起重技術協会	H20.11.21
2 建設マスター			
3 職長教育 職長・安全衛生責任者教育	0000700	〇〇県労働基準協会	H21.11.28

受講料払込金受領証 (写)

振替払込請求書受領証

口座振替番号 001107	650669	一般社団法人 日本海上起重技術協会	金額 55000	(株)日本海上起重 海上太郎	日 附 印
この受領証は、大切に保管してください。					
記載事項を訂正した場合は、その箇所には訂正印を押しつけてください。					

## 海上作業業務経歴書

作業期間	作業船団	作業場所	工事施設名	作業内容	作業上の立場	発注者又は元請会社名	所属会社名	建設工事の種類		経験年数
								土木工事	しゅんせつ工事	○指揮監督業務 ○作業月数
自 H20年5月 至 H20年11月	起重機船	○○港	岸壁	ケーソン据付 200t×6函	甲板員	○○㈱	㈱日本海上起重	○		(7ヶ月) 1年
自 H21年6月 至 H21年12月	起重機船	○△港	防波堤	ブロック(消波)据付 25t×100個	甲板員	△△㈱	㈱日本海上起重	○		(7ヶ月) ]
自 H22年2月 至 H22年3月	起重機船	△△港	防波堤	ブロック(被覆)据付 5t×100個	甲板員	△□㈱	㈱日本海上起重	○		(2ヶ月) ] 1年
自 H22年5月 至 H22年10月	起重機船	△○港	護岸	ケーソン据付 500t×5函	甲板長	㈱□△	㈱日本海上起重	○		○ (6ヶ月) ]
自 H23年1月 至 H23年3月	起重機船	△△港	護岸	ブロック(消波)据付 25t×50個	甲板長	△△㈱	㈱日本海上起重	○		○ (3ヶ月) ] 1年
自 H23年4月 至 H23年6月	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	○		○ (3ヶ月) ]
自 H23年9月 至 H23年12月	起重機船	○○港	岸壁	ケーソン据付 1000t×4函	甲板長	□□㈱	㈱日本海上起重	○		○ (4ヶ月)
自 H24年1月 至 H24年3月	起重機船	○△港	防波堤	ブロック(消波)据付 25t×80個	甲板長	△△㈱	㈱日本海上起重	○		○ (3ヶ月) ] 1年
自 H24年4月 至 H24年12月	起重機船	△□港	防波堤	ケーソン据付 1200t×8函	副船長	△□㈱	㈱日本海上起重	○		○ (9ヶ月) 1年
自 H25年5月 至 H25年8月	起重機船	□△港	防波堤	ブロック(被覆)据付 3t×200個	副船長	㈱□△	㈱日本海上起重	○		○ (4ヶ月) ]
自 H25年10月 至 H26年3月	起重機船	□□港	護岸	鋼矢板打設400m	副船長	○○港	㈱日本海上起重	○		○ (6ヶ月) ] 1年
自 H26年5月 至 H26年12月	起重機船	□○港	護岸	係留施設設置10基	副船長	○㈱	㈱日本海上起重	○		○ (8ヶ月) 1年

※記入にあたっては、申請書類記入要領に従い記入のこと。

海上作業業務経歴書

作業期間	作業船団	作業場所	工事施設名	作業内容	作業上の立場	発注者又は元請会社名	所属会社名	建設工事の種類		経歴年数
								土木工事	しゅんせつ工事	○指揮監督業務 ○作業月数
自 H27年 6月 至 H27年 9月	起重機船	△△港	防波堤	ブロック（被覆）据付 8t×150個	副船長	㈱○○	㈱日本海上起重	○		○ (4ヶ月)
自 H27年 11月 至 H28年 3月	起重機船	○港	離岸堤	ブロック（消波）据付 50t×70個	副船長	□○㈱	㈱日本海上起重	○		○ (5ヶ月) ] 1年
自 H28年 7月 至 H29年 3月	起重機船	△□港	護岸	ケーソン据付1500t×4箇 ブロック（消波）25t×100	船長	□㈱	㈱日本海上起重	○		○ (9ヶ月) 1年
自 H29年 9月 至 H30年 2月	起重機船	○○港	防波堤	ブロック（消波）据付 25t×150個	船長	㈱△□	㈱日本海上起重	○		○ (6ヶ月) 1年
自 H30年 5月 至 H30年 10月	起重機船	□□港	岸壁	ケーソン据付 2500t×6箇	船長	㈱△△	㈱日本海上起重	○		○ (6ヶ月) ]
自 H30年 12月 至 R01年 3月	起重機船	□○港	防波堤	ブロック（消波）据付 25t×80個	船長	㈱□△	㈱日本海上起重	○		○ (4ヶ月) ] 1年
自 R01年 6月 至 R01年 12月	起重機船	△□港	岸壁	鋼管杭φ800×70本	船長	□○㈱	㈱日本海上起重	○		○ (7ヶ月) ]
自 R02年 1月 至 R02年 3月	起重機船	□漁港	離岸堤	ブロック（消波）据付 10t×200個	船長	○㈱	㈱日本海上起重	○		○ (3ヶ月) ] 1年
自 年 月 至 年 月										(ヶ月)
実務経歴年数：作業船の乗組員として乗船してから、本年5月31日までの実務経歴年数（10年以上）								計		12年0ヶ月
指揮・監督経歴年数：経歴年数欄○印の通算年数は3年以上								計		10年0ヶ月

※記入にあたっては、申請書類記入要領に従い記入のこと。

海上作業業務経歴に関する経歴の記載にまちがないことを誓約します。 氏名（自筆） 海上 太郎 印

以上の記載に相違ないことを証明します。所属会社代表者名 ㈱日本海上起重代表取締役社長

管理 二郎 印

## 海上作業業務経歴書

作業期間	作業船団	作業場所	工事施設名	作業内容	作業上の立場	発注者又は元請会社名	所属会社名	建設工事の種類		経験年数 ○指揮監督業務 ○作業月数
								土木工事	しゅんせつ工事	
自 H20年5月 至 H20年11月	グラブ船	○○港	航路・泊地	浚渫作業 200,000m <sup>3</sup>	甲板員	○○㈱	㈱日本海上起重		○	(7ヶ月) 1年
自 H21年6月 至 H21年12月	グラブ船	○△港	航路	浚渫作業 220,000m <sup>3</sup>	甲板員	△△㈱	㈱日本海上起重		○	(7ヶ月) ]
自 H22年2月 至 H22年3月	グラブ船	△△港	泊地	浚渫作業 60,000m <sup>3</sup>	甲板員	△□㈱	㈱日本海上起重		○	(2ヶ月) ] 1年
自 H22年5月 至 H22年10月	ハックル船	△漁港	泊地	浚渫作業 30,000m <sup>3</sup>	甲板長	㈱□△	㈱日本海上起重		○	(6ヶ月) ]
自 H23年1月 至 H23年3月	ハックル船	△△漁港	泊地	浚渫作業 15,000m <sup>3</sup>	甲板長	△△㈱	㈱日本海上起重		○	(3ヶ月) ] 1年
自 H23年4月 至 H23年6月	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		○	(3ヶ月) ]
自 H23年9月 至 H23年12月	グラブ船	○○港	航路	浚渫作業 180,000m <sup>3</sup>	甲板長	□□㈱	㈱日本海上起重		○	(4ヶ月)
自 H24年1月 至 H24年3月	ハックル船	○漁港	泊地	浚渫作業 18,000m <sup>3</sup>	甲板長	△△㈱	㈱日本海上起重		○	(3ヶ月) ] 1年
自 H24年4月 至 H24年12月	グラブ船	△□港	航路・泊地	浚渫作業 250,000m <sup>3</sup>	副船長	△□㈱	㈱日本海上起重		○	(9ヶ月) 1年
自 H25年5月 至 H25年8月	グラブ船	□△港	泊地	浚渫作業 35,000m <sup>3</sup>	副船長	㈱□△	㈱日本海上起重		○	(4ヶ月) ]
自 H25年10月 至 H26年3月	グラブ船	□□港	航路・泊地	浚渫作業 220,000m <sup>3</sup>	副船長	○○港	㈱日本海上起重		○	(6ヶ月) ] 1年
自 H26年5月 至 H26年12月	ハックル船	△△漁港	泊地	浚渫作業 38,000m <sup>3</sup>	副船長	○㈱	㈱日本海上起重		○	(8ヶ月) 1年

※記入にあたっては、申請書類記入要領に従い記入のこと。

海上作業業務経歴書

作業期間	作業船団	作業場所	工事施設名	作業内容	作業上の立場	発注者又は元請会社名	所属会社名	建設工事の種類		経験年数 ○指揮監督業務 ()作業月数
								土木工事	しゅんせつ工事	
自 H27年 6月 至 H27年 9月	グラブ船	○港	航路・泊地	浚渫作業 120,000㎡	副船長	株式会社	日本海上起重		○	○ (4ヶ月)
自 H27年 11月 至 H28年 3月	グラブ船	△□港	泊地	浚渫作業 238,000㎡	副船長	株式会社	日本海上起重		○	○ (5ヶ月)
自 H28年 7月 至 H29年 3月	グラブ船	○○港	泊地	浚渫作業 200,000㎡	船長	株式会社	日本海上起重		○	○ (9ヶ月) 1年
自 H29年 9月 至 H30年 2月	グラブ船	□□港	航路・泊地	浚渫作業 190,000㎡	船長	株式会社	日本海上起重		○	○ (6ヶ月) 1年
自 H30年 5月 至 H30年 10月	バックホフ船	□漁港	泊地	浚渫作業 28,000㎡	船長	株式会社	日本海上起重		○	○ (6ヶ月)
自 H30年 12月 至 R01年 3月	グラブ船	△□港	航路・泊地	浚渫作業 210,000㎡	船長	株式会社	日本海上起重		○	○ (4ヶ月)
自 R01年 6月 至 R01年 12月	バックホフ船	□□漁港	泊地	浚渫作業 25,000㎡	船長	株式会社	日本海上起重		○	○ (7ヶ月)
自 R02年 1月 至 R02年 3月	グラブ船	□△港	泊地	浚渫作業 35,000㎡	船長	株式会社	日本海上起重		○	○ (3ヶ月)
自 年 月 至 年 月										(ヶ月)
実務経験年数：作業船の乗組員として乗船してから、本年5月31日までの実務経験年数（10年以上）								計	12年0ヶ月	
指揮・監督経験年数：経験年数欄○印の通算年数は3年以上								計	10年0ヶ月	

※記入にあたっては、申請書類記入要領に従い記入のこと。

海上作業業務経歴に関する経歴の記載にまちがないことを誓約します。 氏名（自筆） 海上 太郎 印

以上の記載に相違ないことを証明します。所属会社代表者名 株式会社 日本海上起重代表取締役社長

管理 二郎 印



申請書-4

記入例

「登録海上起重基幹技能者」講習

受講票

協会用

希望受講地
東京

※受講番号

フリガナ	カイジョウ	タロウ
氏名	(氏) 海上	(名) 太朗

勤務先 (連絡先)	会社名	(株)日本海上起重
	TEL	03-5640-2941

写真貼付欄 たて3.0cm よこ2.4cm 全面のりづけ
月 日撮影

1. 撮影6ヶ月以内
2. 写真の裏面に希望受講地と氏名を記入
3. サングラス着用のもの等受講者と確認しにくいものは無効

申請書-4

記入例

「登録海上起重基幹技能者」講習

受講票

受講者用

希望受講地
東京

※受講番号

フリガナ	カイジョウ	タロウ
氏名	(氏) 海上	(名) 太朗

勤務先 (連絡先)	会社名	(株)日本海上起重
	TEL	03-5640-2941

写真貼付欄 たて3.0cm よこ2.4cm 全面のりづけ
月 日撮影

1. 撮影6ヶ月以内
2. 写真の裏面に希望受講地と氏名を記入
3. サングラス着用のもの等受講者と確認しにくいものは無効

講習修了証交付申請書

令和 3 年 6 月 12日

氏名	海上 太郎
生年月日	○昭和 / 平成 47年 5月 1日
現住所	〒100-0002 東京都大田区芝1-1-1 TEL 03-5911-1111
本籍	神奈川 都・道・府・○県
修了年月日	※令和 3 年 12月 10日
修了証番号	※第 102100- 号
有効期限	※令和 8 年 12月 9日
所属会社	㈱日本海上起重
会社所在地	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8 ユースビル8F TEL 03-5640-2941
連絡先	( ) 住所宛・(○) 会社宛 どちらかの ( ) 内に○を付けて下さい

※印欄記入不要


<p><b>登録海上起重基幹技能者講習修了証</b></p> <p>修了証番号 第 号</p> <p>氏名</p> <p>(生年月日 年月日)</p> <p>実務経験を有する建設業の種類：土木工事業</p> <p>この者は建設業法施行規則18条の3第2項第2号の登録基幹技能者講習を修了した者であることを証します。</p> <p>修了年月日 令和 年 月 日</p> <p>有効期限 令和 年 月 日</p> <p>一般社団法人 日本海上起重技術協会 印</p> <p>登録番号 第10番</p>	<p><b>登録海上起重基幹技能者講習修了証</b></p> <p>修了証番号 第 号</p> <p>氏名</p> <p>(生年月日 年月日)</p> <p>実務経験を有する建設業の種類：しゅんせつ工事業</p> <p>この者は、建設業法施行規則18条の3第2項第2号の登録基幹技能者講習を修了した者であることを証します。</p> <p>この者はしゅんせつ工事業について建設業法第26条第1項の主任技術者の要件を満たす者であると認めます。</p> <p>修了年月日 令和 年 月 日</p> <p>有効期限 令和 年 月 日</p> <p>一般社団法人 日本海上起重技術協会 印</p> <p>登録番号 第10番</p>
--	--

※選択した建設業の写真貼付欄に1枚貼付して下さい。各項目の記入は不要です。

講習修了証の作成用として写真1枚を使用しますので、クリップ等で申請書-5に止めて下さい。

記入例


申請書送付用封筒表面(角形2号)

	1 0 3 0 0 0 2
一般社団法人	東京都中央区日本橋馬喰町一―三―八
日本海上起重技術協会	ユ―スビル八階
行	
登録海上起重基幹技能者申請書在中	

申請書送付用封筒裏面(角形2号)

受講希望地	東京
連絡先住所	
受講者氏名	

受講票送付用封筒(長形3号)

切手を必ず貼って下さい	
84円切手	
(受講者氏名)	連絡先住所

# 記入例

## 登録海上起重基幹技能者講習「振込取扱票」

00		払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
口座記号	口座番号(右詰め記入)	金額	金額	口座記号	金額
001107	650669	55000	55000	001107	650669
記入者	一般社団法人 日本海上起重技術協会	料	備	記入者	一般社団法人 日本海上起重技術協会
		金	考		
送		登録海上起重基幹技能者講習 受講		記入者	
信		海上太郎		一般社団法人 日本海上起重技術協会	
欄		〒103-0002		金額	
子		東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8		55000	
（依頼人）		(株)日本海上起重		おなまえ	
依頼人		海上太郎		依頼人	
(ご連絡先電話番号 00-0000-0000)		日		(株)日本海上起重	
高額の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)		附		海上太郎	
これより下部には何も記入しないでください。		印		日附印	
				料	
				金	
				備	
				考	

この受領証は、大切に保管してください。

## 申請書類記入項目チェックシート

提出する前に次の項目を再度ご確認ください

	チェック項目	レ欄	備考
申請書ー1	1. 印鑑は押しましたか		
	2. 建設業の種類（該当する工事業）のどちらかにレをしましたか		
	3. 受講区分のどちらかにレをしましたか		
申請書ー2	1. 海上起重作業管理技士資格者証、職長教育修了証又は職長・安全衛生責任者修了証の写しを添付しましたか		
	2. 受講料払込金 受領証（写）を貼り付けましたか		
申請書ー3	1. 作業船乗船経歴10年以上、指揮・監督経験3年以上ありますか		
	2. 本人及び会社代表者印ありますか		
申請書ー4	1. 写真2枚貼り付けましたか		
申請書ー5	1. 写真1枚貼り付け、1枚はクリップ等で留めましたか		
その他	1. 住民票はありますか		
	2. 受講票送付封筒に住所等明記、84円切手を貼り付けましたか		
「講習の手引き」の申請に必要な書類を再度確認のうえ、提出してください。			